

コラム～安全だより～



●令和4年1月（通算第109号）

同じ場所で、同じようにお仕事をしていても、自分自身や周囲の状況など様々な要因から、予想外の事故が発生することがあります。

KY(危険予知)活動の狙いは、事前に予測した【危険の芽を摘む】ことです。

発行:

公益財団法人東京しごと財団

(東京都シルバー人材センター連合)

一人KY(危険予知)活動

K(危険)
Y(予知)

- ◆ お仕事の内容や働く場所にひそむ、色々な危険を予測する
- ◆ 事前に考えたことを、実際のお仕事の<前><最中><後>で、実行するように努める

【事例紹介1】 中野区SC

● まずは作ってみる!

中野区SCでは、一人KYカード(自問自答カード)をまず安全管理委員会・事務局が作成しました。

そして、運用しながら、また会員の意見も聴きながら、随時改訂し、改善していくことにしています。

● ブランクの欄を設ける

カードには、ブランク欄を設けて、会員自身が自由に記入できるようにしました。

カードは、<広報誌配布>や<児童見守り業務>等就業別に作成、<就業前・就業中>等の場面ごとの内容にしています。

就業時に携帯しやすい、二つ折りのポケットサイズ(二つ折りで約13cm x 約9cm)です。



【事例紹介2】 三宅村SC

● 会員の眼にふれやすく

三宅村SCでは、月刊の広報誌「シルバーみやげ」に、危険予知トレーニングシートを挟み込んで、全会員に配布しています。

● 継続的にコツコツと

毎月1件の事例を示して、問いかけをします。

- ①「どんな危険がありそうですか? 考えてみてください」
- ②「考えた危険にあわないためには、どうしますか?」

裏面には、前月の事例について【予想される危険例】を紹介しています。



【事例紹介3】 東京しごと財団

● KY写真を募集しています!

(1) 写真を撮影する

お仕事場所や行き帰りなど、日常の中で感じるKY場面の写真を、募集しています。

危険

事故に
つながりそう

(2) 写真データを財団に送る

送信先のアドレス

↓
sc-jigyo@shigotozaidan.or.jp